



DIGITAL MIXING SYSTEM

RIVAGE

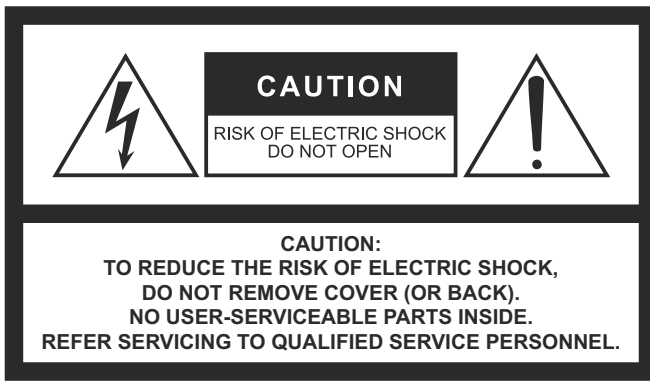
PM

DSP ENGINE

DSP-RX-EX

DSP-RX

取扱説明書



The above warning is located on the top/rear of the unit.



L'avertissement ci-dessus est situé sur le dessus/l'arrière de l'unité.

Explanation of Graphical Symbols Explication des symboles



The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.
L'éclair avec une flèche à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'une « tension dangereuse » non isolée à l'intérieur de l'appareil, pouvant être suffisamment élevée pour constituer un risque d'électrocution.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the product.
Le point d'exclamation à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'instructions importantes sur l'emploi ou la maintenance (réparation) de l'appareil dans la documentation fournie.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

- 1 Read these instructions.
- 2 Keep these instructions.
- 3 Heed all warnings.
- 4 Follow all instructions.
- 5 Do not use this apparatus near water.
- 6 Clean only with dry cloth.
- 7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- 9 Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
- 13 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 14 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.



WARNING

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPARATUS TO RAIN OR MOISTURE.

(UL60065_03)

PRÉCAUTIONS CONCERNANT LA SÉCURITÉ

- 1 Lire ces instructions.
- 2 Conserver ces instructions.
- 3 Tenir compte de tous les avertissements.
- 4 Suivre toutes les instructions.
- 5 Ne pas utiliser ce produit à proximité d'eau.
- 6 Nettoyer uniquement avec un chiffon propre et sec.
- 7 Ne pas bloquer les orifices de ventilation. Installer l'appareil conformément aux instructions du fabricant.
- 8 Ne pas installer l'appareil à proximité d'une source de chaleur comme un radiateur, une bouche de chaleur, un poêle ou tout autre appareil (y compris un amplificateur) produisant de la chaleur.
- 9 Ne pas modifier le système de sécurité de la fiche polarisée ou de la fiche de terre. Une fiche polarisée dispose de deux broches dont une est plus large que l'autre. Une fiche de terre dispose de deux broches et d'une troisième pour le raccordement à la terre. Cette broche plus large ou cette troisième broche est destinée à assurer la sécurité de l'utilisateur. Si la fiche équipant l'appareil n'est pas compatible avec les prises de courant disponibles, faire remplacer les prises par un électricien.
- 10 Acheminer les cordons d'alimentation de sorte qu'ils ne soient pas piétinés ni coincés, en faisant tout spécialement attention aux fiches, prises de courant et au point de sortie de l'appareil.
- 11 Utiliser exclusivement les fixations et accessoires spécifiés par le fabricant.
- 12 Utiliser exclusivement le chariot, le stand, le trépied, le support ou la table recommandés par le fabricant ou vendus avec cet appareil. Si l'appareil est posé sur un chariot, déplacer le chariot avec précaution pour éviter tout risque de chute et de blessure.
- 13 Débrancher l'appareil en cas d'orage ou lorsqu'il doit rester hors service pendant une période prolongée.
- 14 Confier toute réparation à un personnel qualifié. Faire réparer l'appareil s'il a subi tout dommage, par exemple si la fiche ou le cordon d'alimentation est endommagé, si du liquide a coulé ou des objets sont tombés à l'intérieur de l'appareil, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à de l'humidité, si l'appareil ne fonctionne pas normalement ou est tombé.



AVERTISSEMENT

POUR RÉDUIRE LES RISQUES D'INCENDIE OU DE DÉCHARGE ÉLECTRIQUE, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE OU À L'HUMIDITÉ.

(UL60065_03)

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

本製品は、RIVAGE PMシステムに求められるすべての信号処理とシステム制御の中核を担うDSPエンジンです。用途以外の目的では使用しないでください。

取り扱いに不慣れな方など本書に従って取り扱いできない方が使用する場合は、必ず安全面で責任を持てる方が補助してください。

ここに示した注意事項は、DSP-RX(-EX)、DEK-DSP-RXを安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

注記

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起	 一般注意	 感電注意 (本体表示)
禁止	 禁止	 分解禁止
	 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止
必ず実行	 必ず実行	 必ず接地接続
		 電源プラグを抜く



警告

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源 / 電源コード



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
- ・無理に曲げない
- ・傷つけない
- ・電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必要に応じて、定期的にはこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。

**本製品をコンセントの近くに設置する。**

本製品は複数の電源を受給します。電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でもすべての電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。

**必ず実行****必ず実行**

- 長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
- 雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

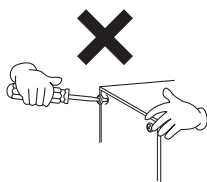
感電や火災、故障の原因になることがあります。

接続**必ず実行****電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。**

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

分解禁止**禁止****本製品を分解したり改造したりしない。**

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。

**水や火に注意****禁止**

- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

**禁止****ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**

感電のおそれがあります。

**禁止****本製品の近くで、火気を使用しない。**

火災の原因になります。

聴覚障害**必ず実行****電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量(ボリューム)を最小にする。**

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。

**必ず実行****オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。**

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



必ず実行

本製品をEIA標準ラックにマウントする場合は、8ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。放熱が不十分だと製品内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。EIA標準のラック以外に本製品を入れる場合は、本機の周囲に左右10cm以上のスペースを確保してください。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行なう。ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

本製品を持ち運ぶ場合は、必ず2人以上で行なう。本製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、本製品が落下して破損したり、けがをしたりする原因になります。

お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

本製品の通風孔/パネルのすき間に手や指を入れない。けがをするおそれがあります。



禁止

本製品の上ののったり重いものをのせたりしない。本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。

バックアップバッテリー



禁止

バックアップバッテリーを自分で交換しない。誤って交換すると爆発や故障の原因になることがあります。バッテリーを交換する必要があるときは、ディスプレイに「Low Battery」または「No Battery」と表示されます。この場合、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。

注記(ご使用上の注意)

製品の取り扱い / お手入れに関する注意

本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続する。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定する。電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆回線LANを含む)には直接接続しない。

テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。

極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。

本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。

温度変化が激しい場所に設置しない。

製品内部や表面に結露が発生し、故障する原因になります。

結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。

結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。

本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

パネルの変色/変質の原因になります。

お手入れのときは、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。

変色/変質する原因になります。

バランス出力をアンバランス機器に接続する場合は、各機器間のグラウンド電位を合わせる。

グラウンド電位が合っていないと、故障の原因になります。アンバランス(不平衡)機器接続ケーブルの配線はピン3: コールドとピン1: グラウンドを接続してお使いください。

■ DEK-DSP-RX

本製品を持つときは、前もって衣類や身体の静電気を除去する。

静電気は故障の原因になります。あらかじめ塗装面以外の金属部分やアースされている機器のアース線などに触れるなどしてください。

基板上の金属部分が露出している部分に触らない。

接触不良などの原因になります。

本製品を落としたり、衝撃を与えない。

破損や故障の原因になります。

データの保存に関する注意

ディスプレイに「Low Battery」または「No Battery」が表示されたら、電源を切らずに、すぐにデータをコンピューターなどの外部機器に保存する。


保存せずに電源を切ると、データの損失の原因となります。

お知らせ

製品の機能 / データに関するお知らせ

- 電源スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。この状態での消費電力は、最小限の値で設計されています。本製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。1: グラウンド(GND)、2: ホット(+), 3: コールド(-)

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- SDHC ロゴ、およびSD ロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品のトップカバーにある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(top_ja_02)

安全上のご注意.....	3
はじめに.....	8
付属品.....	8
別売オプション.....	8
ファームウェアのアップデート.....	8
ラックマウント時の注意.....	8
リセスについて.....	8
各部の名称と機能.....	9
フロントパネル.....	9
リアパネル.....	10
ユーロブロックプラグの取り付け方法.....	12
オプションカードの取り付け/取り外し.....	13
Mini-YGDAIカードの取り付け.....	13
Mini-YGDAIカードの取り外し.....	13
HYカードの取り付け.....	14
HYカードの取り外し.....	15
電源の準備.....	15
電源コードの接続.....	15
電源のオン/オフ.....	15
DEK-DSP-RXについて.....	16
困ったときは.....	16
工場出荷時の状態に戻す.....	16
メッセージ一覧.....	17
仕様.....	19
一般仕様.....	19
ピンアサイン表.....	21
寸法図.....	21
索引.....	22
アフターサービス.....	23
保証書.....	24

はじめに

このたびはヤマハDSPエンジンユニットDSP-RX(-EX)をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

DSP-RX(-EX)の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。また、お読みいただいたあとも、保証書とともに保管してください。

* 本書では、特にことわりがない場合、イラストはDSP-RX-EXを使用しています。DSP-RXには、フロントパネルにEXのバッジがありません。

お知らせ

本製品はオープンソースソフトウェアを使用しています。使用しているライセンスの情報は、ダウンロードファイルに収録されている***(製品名)_OSSLicense_j.pdfに記載されています。

付属品

- 電源コード2本
- ユーロブロックプラグ
- 取扱説明書(本書：保証書付き)

別売オプション

- Mini-YGDALカード
- HYカード
- DEK-DSP-RX (DSPエクспанションキット)
(16ページをご参照ください。)

ファームウェアのアップデート

この製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートすることができます。

ファームウェアのアップデートに関する情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトに掲載されています。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

アップデートの手順については、ウェブサイトを用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

ラックマウント時の注意

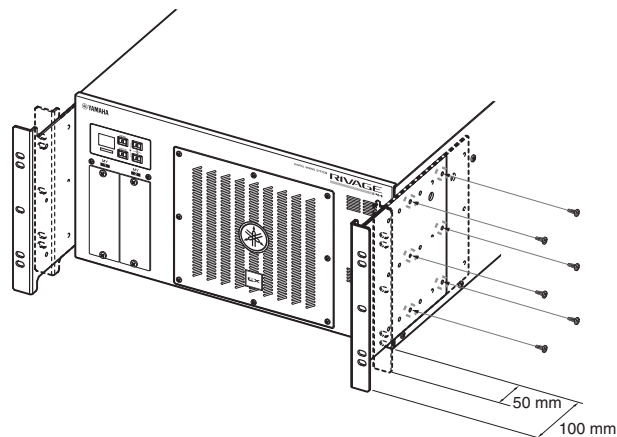
この機器が動作保証する室温は0~40℃です。この機器を複数台または他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。

この機器に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラック背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気用装置を設置してください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書をご参照ください。

リセスについて

この機器は、ラックマウント金具の取り付け位置をずらすことで、下の図のように、パネル面をラック前面より50mmまたは100mm奥に配置できます。

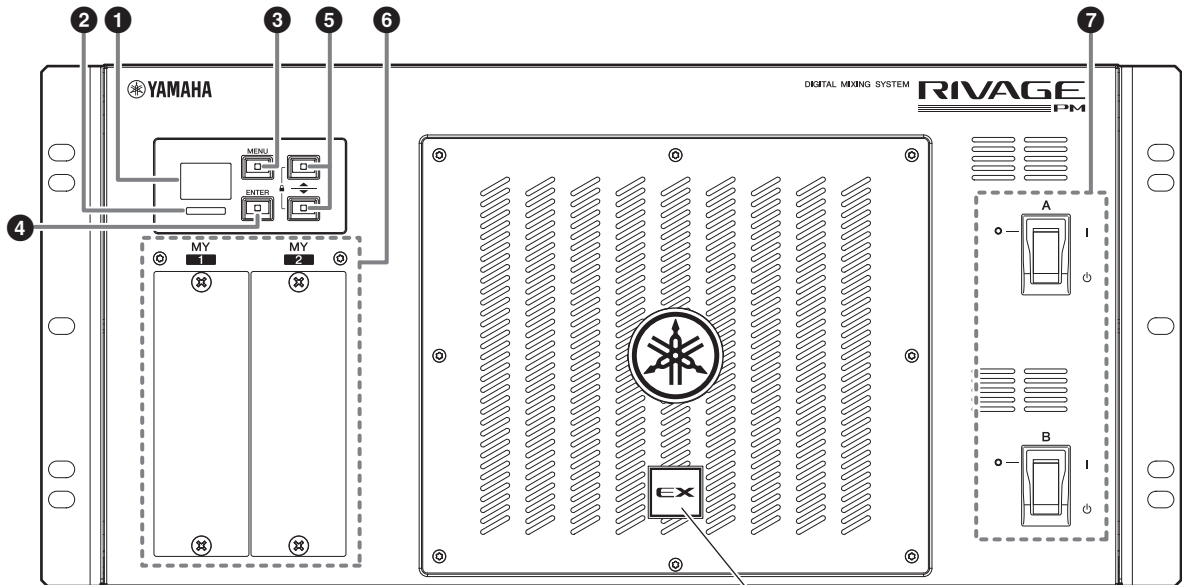


NOTE

金具を取り付けるときは、必ず取り外したネジをそのままお使いください。

各部の名称と機能

フロントパネル



* DSP-RX-EXに付いているEXパッチです。DSP-RXには付いていません。

1 液晶画面

本体の設定項目を表示します。

2 カラーインジケータ

本体の状態を表示します。

緑	正常
黄(点灯)	異常があるが継続使用可能
赤(点滅)	致命的なエラーが発生

3 [MENU]キー

以下の設定項目を液晶画面に表示します。

Unit ID	本体のIDを設定します。個々の機器を識別するため、同じI/O Networkに接続している機器を別々のIDに設定してください。設定方法についての詳細は、RIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアルの「Unit IDを設定する」をご参照ください。
Fan Spd	本体の冷却ファンの速度を設定します。電源ユニットの冷却ファンの速度は変わりません。
Brightns	液晶画面の明るさを設定します。
Contrast	液晶画面のコントラストを設定します。
FaultOut	FAULT OUTPUT端子から外部に異常を通知する条件を設定します。 Red: カラーインジケータが赤色に点滅するエラーが発生したときに通知 Y&R: カラーインジケータが黄色に点灯、または赤色に点滅するエラーが発生したときに通知
UnitMode	DefaultモードとTheatreモードを切り替えます。

F/W Ver.	本体ファームウェアのバージョンを表示します。
Mirr Chk	DSPミラーリングが適切に動作しているかを確認します。2台のDSPエンジンがミラーリング状態のときのみ実行できます。
Initialz	本体を初期化します。

4 [ENTER]キー

設定項目やパラメーターを決定します。

5 [▲]/[▼]キー

設定項目やパラメーターを選択します。

6 MYカードスロット

別売のMini-YGDAIカードを装着します。

7 [I]/[O](電源スイッチA/B)

電源のオン(I)/オフ(O)を切り替えます。電源ユニットがオンのとき、インジケータが点灯します。

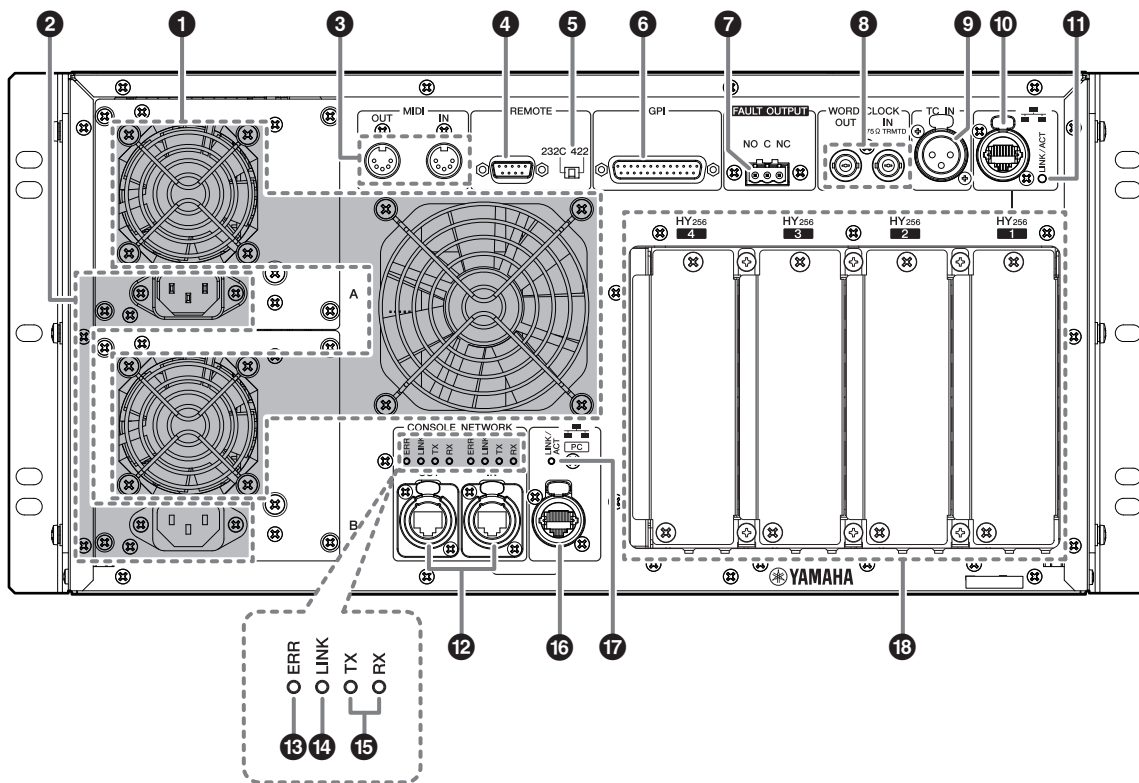
注記

- 電源スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。
- 電源スイッチがオフの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

NOTE

電源の冗長性を確保するため、本体の電源スイッチA/Bを両方ともオンまたはオフにしてください。片側だけがオンの場合、液晶画面にエラーメッセージが表示され、カラーインジケータが黄色に点灯します。

リアパネル



1 排気口

本体には冷却用ファンが装備されています。ここから排気が行なわれますので、障害物などで排気口をふさぐことのないようにご注意ください。

2 AC IN (電源入力)端子

付属の電源コードを接続します。まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうのを防ぎます。

NOTE

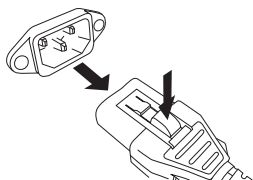
AとB両方の端子に電源コードを接続した場合、通常動作時には両方の電源ユニットから電源が供給され動作しますが、片方が故障した場合でも、もう一方から電源が供給され動作します。



注意

電源コードを接続したり、取り外したりする前に必ず電源をオフにしてください。

電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



3 MIDI OUT/IN端子

外部MIDI機器との間でMIDIメッセージを送受信する端子です。

4 REMOTE端子

外部機器から制御するために、信号を送受信するD-SUB 9ピンオス端子です。(将来のアップデートでサポート予定)

5 シリアル通信切り替えスイッチ

REMOTE端子の信号規格をRS-232CとRS-422とで切り替えるスイッチです。

6 GPI端子

GPIに対応した外部機器との間で信号を送受信(5イン/5アウト)するためのD-sub 25ピンメス端子です。

7 FAULT OUTPUT端子

本体の異常を外部に通知するためのユーロブロック端子です。ランプやブザーなどを接続します。本体が正常に動作しているときはNC端子とC端子が短絡し、異常が発生したときはNO端子とC端子が短絡します。

NOTE

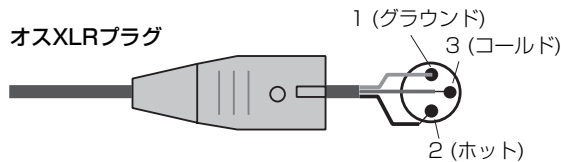
本体の電源スイッチをオフにした場合も、異常が発生したときと同様、NO端子とC端子が短絡します。

8 WORD CLOCK OUT/IN端子

外部機器との間でワードクロック信号を送受信するためのBNC端子です。WORD CLOCK IN端子は内部で75Ω終端されています。

9 TC IN端子

外部機器からタイムコード信号を受信するためのバランスXLR-3-31メスタイプの入力端子です。



10 NETWORK端子

イーサネットケーブル(CAT5以上)を使用して、外部機器と接続するRJ-45端子です。

NOTE

- ・ 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- ・ Neutrik社製etherCON CAT5と互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ・ ケーブル長は、機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できる長さは異なります。

11 LINK/ACTインジケータ

接続状況に応じて緑色に点灯/点滅します。
点灯はリンク成立時、点滅はデータ転送中です。

12 CONSOLE NETWORK OUT/IN端子

イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、コントロールサーフェスに接続するためのRJ-45端子です。

NOTE

- ・ 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- ・ Neutrik社製etherCON CAT5eと互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ・ ケーブル長は、機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できる長さは異なります。

13 ERRインジケータ

エラー発生時に赤色に点滅/点灯します。
インジケータが消えない場合は、巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

14 LINKインジケータ

ネットワークの状況に応じて緑色に点滅/点灯します。

緑(点滅)	Console Networkへの接続準備中です。この状態が長く続く場合は正しく動作していません。以下の対処をしても問題が解消されない場合は、巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none">・ RIVAGE PMシステムの電源を入れ直す。・ ケーブルの接続方法が正しいか確認する。・ ケーブルが確実に挿入(ロック)されているか確認する。・ 別のケーブルに交換する。
緑(点灯)	Console Networkに正しく接続しています。

15 TX/RXインジケータ

CONSOLE NETWORK OUT/IN端子で信号を送信(TX)または受信(RX)すると、それぞれのインジケータが緑色に点滅します。

16 NETWORK [PC] 端子

イーサネットケーブル(CAT5以上を推奨)を使用して、コンピュータと接続するRJ-45端子です。専用のアプリケーションプログラム「RIVAGE PM Editor」からミックスパラメータを操作したり、シーンメモリー/各種ライブラリーを編集したりする目的で利用します。

NOTE

- ・ 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- ・ Neutrik社製etherCON CAT5と互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ・ ケーブル長は、機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できる長さは異なります。

17 LINK/ACTインジケータ

接続状況に応じて緑色に点灯/点滅します。
点灯はリンク成立時、点滅はデータ転送中です。

18 HYカード スロット

別売のHYカードを装着して、RPio622などのI/Oラックと接続することにより、入出力ポートを拡張できます。HYカードスロット1/2はTWINLANEネットワークカードを装着できます。HYカードスロット3は汎用I/Oとして使用できます。HYカードスロット4はバーチャルサウンドチェック(VSC)で使用するほか、汎用I/Oとして使用できます。本体は下記のHYカードに対応しています。

- ・ スロット1~2 : HY256-TL, HY256-TL-SMF
- ・ スロット1~4 : HY144-D, HY144-D-SRC, HY128-MD

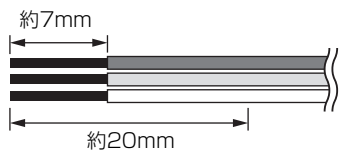
最新の情報はヤマハプロオーディオウェブサイトをご参照ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

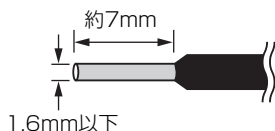
ユーロブロックプラグの取り付け方法

FAULT OUTPUT端子には付属のユーロブロックプラグを使って接続します。

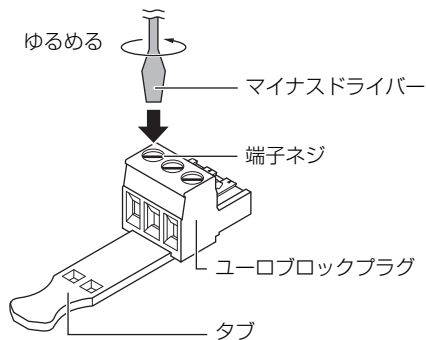
事前準備(ケーブルの処理)



- ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルにはより線を使用し、図のようにむき出して配線してください。また、ユーロブロックでの配線は、ケーブルの重さや振動による金属疲労により、より線が切れやすくなる場合があります。ラックマウント時は、なるべく束線バーなどを使用してケーブルを結束して固定してください。
- 可搬設備などで頻繁に抜き差しする場合は、絶縁スリーブ付き棒端子の使用を推奨します。棒端子のコンダクター部は、外径1.6mm以下で、長さ約7mmのもの(Phoenix Contact社製AI 0,5 - 6 WHなど)をご使用ください。



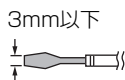
1. 端子ネジをゆるめます。



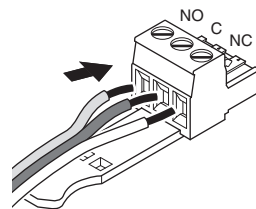
* タブ付きのユーロブロックプラグを使って説明しています。

NOTE

マイナスドライバーは、3mm以下のものを使用してください。



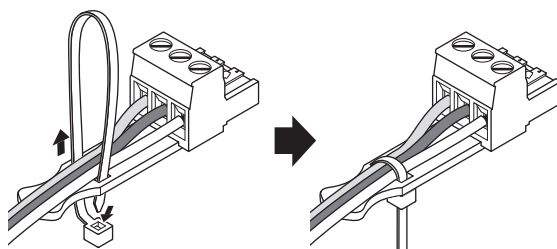
2. ケーブルを差し込みます。



3. 端子ネジをしっかりと締め付けます。

ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

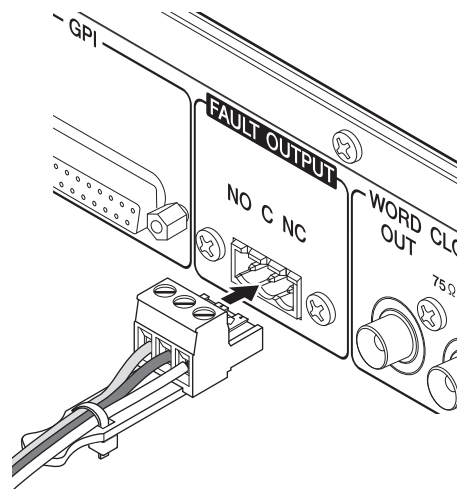
4. 付属の結束バンドを使ってケーブルをタブに固定します。



NOTE

結束バンドの不要な部分は必要に応じて切除してください。

5. ユーロブロックプラグを本体のFAULT OUTPUT端子に装着します。



オプションカードの取り付け/取り外し

Mini-YGDAIカードの取り付け

カードを取り付ける前に、DSP-RX(-EX)対応のカードか、他のヤマハまたはサードパーティー製のカードと組み合わせて何枚まで挿入可能かを、ヤマハプロオーディオウェブサイトで必ずご確認ください。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

1. 電源インジケータが2つとも消えていることを確認します。

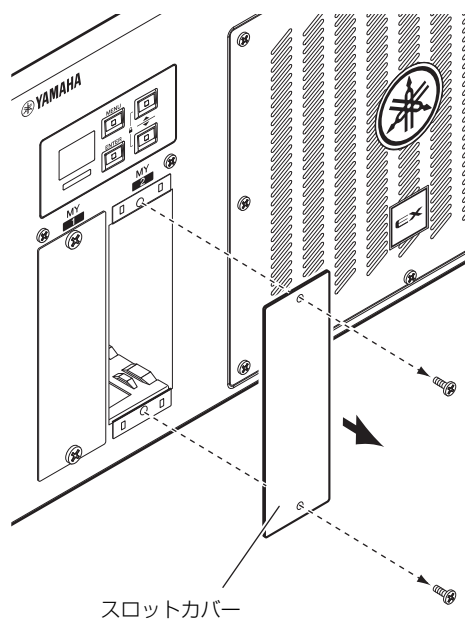


注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

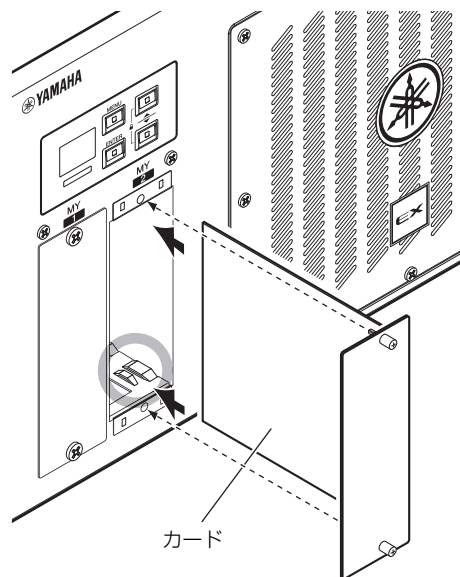
2. スロットの固定ネジを下→上の順で外し、スロットカバーを取り外します。

取り外したスロットカバーやネジは、安全な場所に保管してください。



3. スロット内のガイドレールにカードの両端を合わせ、カードをスロットに挿入します。

このとき、カードの端子部分がスロット内部の端子に正しく挿さるようカードをいっぱいまで押し込んでください。



4. カードに取り付けられているネジでカードを固定します。

カードが固定されていないと、故障や誤動作の原因になります。

Mini-YGDAIカードの取り外し

1. 電源インジケータが2つとも消えていることを確認します。



注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

2. カードを固定しているネジを外します。
3. ネジを持って、カードを手前に引き出します。
4. 保管しておいたスロットカバーを取り付け、ネジで固定します。

HYカードの取り付け

1. 電源インジケータが2つとも消えていることを確認します。

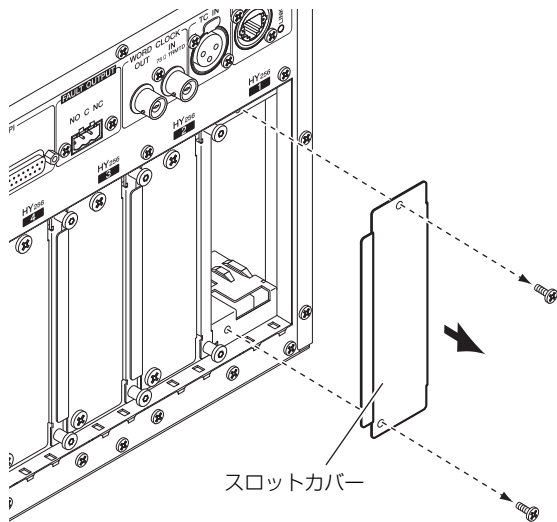


注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

2. スロットの固定ネジを外し、スロットカバーを取り外します。

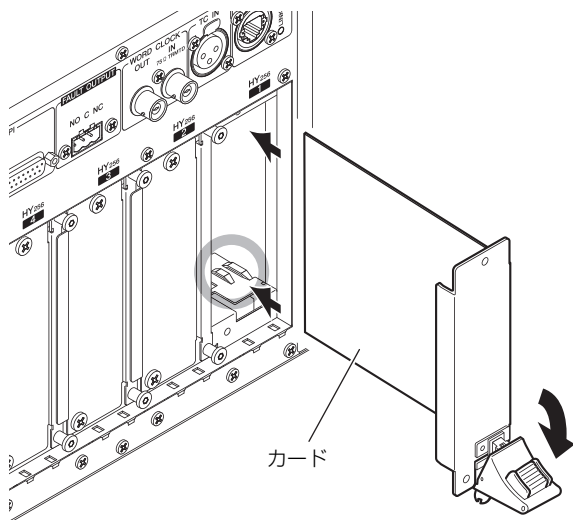
取り外したスロットカバーやネジは、安全な場所に保管してください。



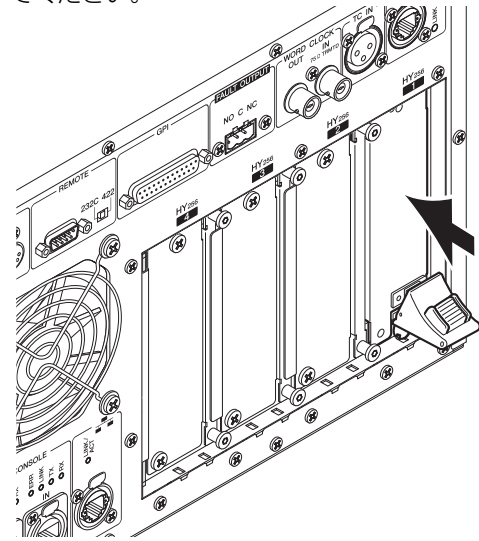
3. スロット内のガイドレールにHYカードの両端を合わせ、カード脱着用レバーを下げた状態でスロットに挿入します。

NOTE

各スロットに対応するカードについては、「各部の名称と機能」(11ページ)をご参照ください。



このとき、カードの端子部分がスロット内部の端子に正しく挿さるようカードをいっぱいまで押し込んでください。

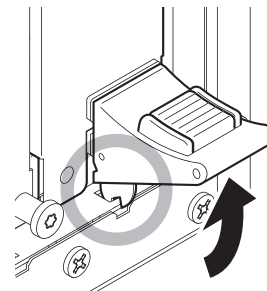


4. カード脱着用レバーを上を持ち上げて、カードをロックします。

レバーのツメがスロットの下端にしっかりはまっていることを確認してください。

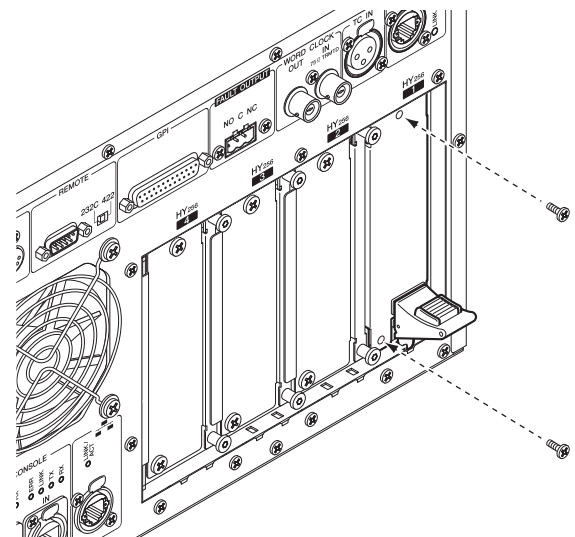
NOTE

ツメがはまらないときは、ロック直前でカードを少し持ち上げてください。



5. スロットカバーを止めていたネジでカードを固定します。

カードが固定されていないと、故障や誤動作の原因になります。



HYカードの取り外し

1. 電源インジケータが2つとも消えていることを確認します。



注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

2. カードを固定しているネジを外します。
3. カード脱着用レバーのボタン(赤)を押して、カードのロックを外します。
4. カード脱着用レバーを下に押して、カードを手前に引き出します。
5. 保管しておいたスロットカバーを取り付け、ネジで固定します。

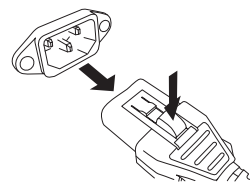
電源の準備

電源コードの接続

1. 本体の電源スイッチ A/B を両方ともオフにします。
2. 付属の電源コードの1本を本体リアパネルの AC IN 端子 (A) に、もう1本を本体リアパネルの AC IN 端子 (B) に接続します。
3. 電源コードの另一端のプラグを2本とも電源コンセントに接続します。

NOTE

- ・電源コードを外すときは、上記の手順を1→3→2の順で行なってください。
- ・電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



警告

電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。



注意

電源コードを接続したり、取り外したりする前に電源を必ずオフにしてください。

注記

電源スイッチがオフの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

電源のオン/オフ

スピーカ-の故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にパワーアンプの電源を入れてください。また、電源を切るときは、最初にパワーアンプの電源を切ってください。

NOTE

電源の冗長性を確保するため、本体の電源スイッチA/Bを両方ともオンまたはオフにしてください。片側だけがオンの場合、液晶画面にエラーメッセージが表示され、カラーインジケータが黄色に点灯します。

DEK-DSP-RXについて

DSP-RXは、オプション品(別売)のDEK-DSP-RX (DSP エクスパンションキット)を取り付け、所定の手続きをすることで、DSP-RX-EXにアップグレードできます。

	DSP-RX		DSP-RX-EX
インプットチャンネル	120	➡	288
バス	72	➡	108
プラグイン	384	➡	512

取り付けと手続きについては、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。お客様にお取り付けいただく部品はございません。

困ったときは

ヤマハプロオーディオウェブサイトにて、FAQ (よくあるご質問と答え)を掲載しています。

<http://www.yamahaproaudio.com/>

電源が入らない

- 電源スイッチがオンになっていますか？
- 電源コードを接続していますか？
- ➡ それでも電源が入らない場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

音が入力されない

- オプションカードは正しく装着されていますか？
- ケーブルは正しく接続されていますか？

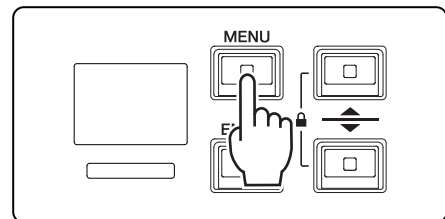
工場出荷時の状態に戻す

以下の操作で、Unit ID以外の本体の内部メモリを工場出荷時の状態に初期化できます。

NOTE

Unit IDの設定方法については、RIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアルの「Unit IDを設定する」をご参照ください。

1. 電源オンの状態で、本体フロントパネルの [MENU] キーを押します。



2. [▲]/[▼] キーを使って “Initialz” を選択します。
3. [ENTER] キーを押します。

**Press&Hold
[ENTER] to
initialize**

4. [ENTER] キーを 2 秒以上押し続けます。
内部メモリが初期化され、本体が自動的に再起動します。本体が再起動したら、初期化完了です。
初期化をやめるには、[ENTER]キーの代わりに [MENU]キー、[▲]キー、[▼]キーのどれかを押しします。

メッセージ一覧

フロントパネルの液晶画面とカラーインジケータに警告/注意のメッセージが表示されます。機能改善などによりメッセージが追加されることがあります。メッセージ一覧の最新情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトに掲載されているRIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアルをご参照ください。
<http://www.yamahaproaudio.com>

警告メッセージ

修理が必要になる場合があります。巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

液晶画面 メッセージ	カラーインジ ケータ表示	内容
*[ERR M0#] H/W ERROR MY SLOT#	赤(点滅)	MYカードスロットに挿入されているカードにアクセスできない。 # はエラーが発生したスロット番号を示します。
*[ERR H0#] H/W ERROR HY SLOT#	赤(点滅)	HYカードスロットに挿入されているカードにアクセスできない。 # はエラーが発生したスロット番号を示します。
*[ERR T11] TWINLANe T V B OP IP	赤(点滅)	HY256-TLの光トランシーバーモジュールに異常がある。 T：温度、V：電圧、B：バイアス電流、OP：出力光量、IP：入力光量をそれぞれ示します。 このエラーは、[ERR T12]の対策方法(下記)で改善する場合があります。
*[ERR X0#] H/W ERROR	赤(点滅)	内部部品に異常がある。 # はエラーが発生した内部部品を示します。
*[ERR X1#] H/W ERROR BOARD#		
*[ERR X16] MEMORY ERROR		
*[ERR F01] COOLING FAN ERROR	赤(点滅)	冷却ファンに異常がある。

* はUnit IDを示します。

注意メッセージ

液晶画面 メッセージ	カラーインジ ケータ表示	内容	対策方法
*[ERR T0#] TWINLANe WRONG LOOP	赤(点滅)	光ファイバーケーブルの接続が正しくない。 # はエラー内容を示します。 1：自分自身へのループバック(IN-OUT) 2：入力端子同士の接続(IN-IN) 3：出力端子同士の接続(OUT-OUT)	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR T07] TWINLANe OPEN LOOP	黄(点灯)	光ファイバーケーブルの接続が正しくない。 TWINLANeネットワークのループがクローズ していません。	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR T12] TWINLANe T V B O P I P	黄(点灯)	HY256-TLの光トランシーバモジュールの エラー。 T：温度、V：電圧、B：バイアス電流、 OP：出力光量、IP：入力光量 をそれぞれ示します。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルが確実に挿入されているか確認する。 市販の光ファイバー専用クリーニングツールを 使って、ケーブルの両端および本カードの端子を クリーニングする。 別のケーブルに交換する。 上記の対処をしても問題が解消されない場合は、動 作に支障ありませんが、早めに点検が必要です。巻 末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせくだ さい。
*[ERR T0#] CONSOLE NETWK WRONG LOOP	赤(点滅)	イーサネットケーブルの接続が正しくない。 # はエラー内容を示します。 4：自分自身へのループバック(IN-OUT) 5：入力端子同士の接続(IN-IN) 6：出力端子同士の接続(OUT-OUT)	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR T08] CONSOLE NETWK OPEN LOOP	黄(点灯)	イーサネットケーブルの接続が正しくない。 Console Networkのループがクローズして いません。	ケーブルの接続を確認してください。
*[ERR W01] BNC UNLOCK	赤(点滅)	WORD CLOCK IN端子に入力されるワード クロックにロックできない。(クロックソース にWORD CLOCK INを選択した場合)	クロックを供給している外部機器を確認してくだ さい。
*[ERR W02] DATA CORRUPT TRY RE-SYNC	赤(点滅)	本体内のミキシングデータがこわれている。 前回ファイルのロードやデータ同期(SYNC) の途中で電源が切れるなどして中断された可 能性があります。	コントロールサーフェスからデータを送り込む方向 で再度同期(SYNC)を行なってください。
*[ERR P01] POWER A OFF	黄(点灯)	A側の電源入力がない。	A側の電源スイッチがオンになっていること、A側 の電源コードが接続されていることを確認してくだ さい。
*[ERR P02] POWER B OFF	黄(点灯)	B側の電源入力がない。	B側の電源スイッチがオンになっていること、B側 の電源コードが接続されていることを確認してくだ さい。
*[ERR C11] LOW BATT	黄(点灯)	バックアップバッテリーの電圧が2.8V以下に 下がっている。	お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談 センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼 ください。
*[ERR C12] NO BATT	黄(点灯)	バックアップバッテリーの電圧が2.45V以下 に下がっている。	お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談 センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼 ください。

* はUnit IDを示します。

NOTE

複数の問題が発生した場合は、[▲]/[▼]キーで切り替えてメッセージを確認できます。

仕様

一般仕様

サンプリング周波数

		条件	Min.	Typ.	Max.	単位
外部クロック	Frequency range	Fs= 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	-1000	—	+1000	ppm
	Jitter of PLL ^{*1}	WORD CLOCK IN Fs= 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	—	—	10	ns
内部クロック	Frequency	Word clock : int 44.1 kHz Word clock : int 48 kHz Word clock : int 88.2 kHz Word clock : int 96 kHz	—	44.1 48 88.2 96	—	kHz
	Accuracy	Word clock : int 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz	-50	—	+50	ppm
	Jitter ^{*2}	Word clock : int 44.1 kHz Word clock : int 48 kHz Word clock : int 88.2 kHz Word clock : int 96 kHz	—	—	4.5 4.1 2.3 2.1	ns

*1. 入力クロックのジッターは1 ns以下のこと

*2. WORD CLOCK OUT端子で測定

電源条件

	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
消費電力	100-240 V 50/60 Hz	—	—	190	W
発熱量	100-240 V 50/60 Hz	—	—	164	kcal/h

ACケーブル長と温度範囲

	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
ACケーブル長		—	250	—	cm
温度範囲	Operating temperature range	0	—	40	°C
	Storage temperature range	-20	—	60	°C

コントロール入出力規格

端子		フォーマット	レベル	コネクタ	Balanced / Unbalanced
MIDI	IN	MIDI	-	DIN 5pin	-
	OUT	MIDI	-	DIN 5pin	-
TC IN	SMPTE	SMPTE	0.3 Vpp (Min.) / 10.0 Vpp (Max.), 10 kΩ	XLR-3-31 type ^{*1}	Balanced
WORD CLOCK	IN	-	TTL/75 Ω terminated	BNC	-
	OUT	-	TTL/75 Ω	BNC	-
GPI		-	-	D-sub (25-pin, Female) ^{*2}	-
REMOTE		-	RS422 / 232C ^{*3}	D-sub (9-pin, Male)	-
FAULT OUTPUT	NO	-	< DC 30 V, < 1 A	Euroblock Connector 3P	-
	C ^{*4}	-	-		-
	NC	-	< DC 30 V, < 1 A		-
CONSOLE NETWORK IN/OUT		-	1000BASE-T	etherCON CAT5e ^{*5 *7}	-
NETWORK		IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	etherCON CAT5 ^{*6 *7}	-
NETWORK [PC]		IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	etherCON CAT5 ^{*6 *7}	-

*1. 1=GND、2=HOT、3=COLD

*2. 入力ピン

CH 1~7: TTLレベル(入力電圧0~5 V)

CH 8: フォトカプラ(入力電圧0~24 V、ローレベル1 V以下ハイレベル5 V以上)

出力ピン

CH 1~7: オープンドレイン(最大供給電圧12 V、最大流入電流/ピン75 mA)

CH 8: リレー接点(最大1 A/30 V DC)

電源ピン(5 V±5%、最大出力電流600 mA)

*3. スイッチで切替

*4. C端子はFault検出時NO端子とショート、通常時NC端子とショート

*5. 接続するケーブルは、CAT5e以上

*6. 接続するケーブルは、CAT5以上

*7. 接続するケーブルは、STPを推奨

外形寸法(WxHxD)、質量

480 mm × 220 mm × 491 mm

DSP-RX-EX: 20 kg、DSP-RX: 19 kg

付属品

取扱説明書、電源コード × 2、ユーロブロックプラグ3P

別売オプション

Mini-YGDAIカード、HYカード、DEK-DSP-RX (DSPエキスパンションキット)

EIAラックマウントサイズ

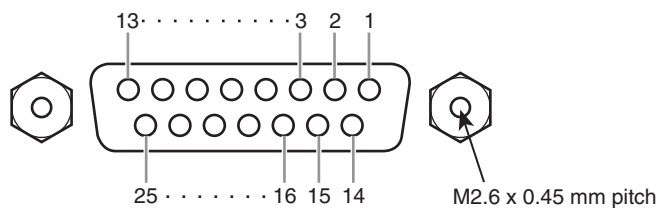
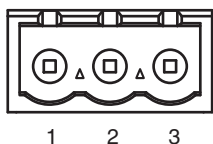
5 U

NC値

15 (Fan Spd: LOW) / 20 (Fan Spd: HIGH)

測定条件: 機器正面から100 cm位置で測定。

ピンアサイン表



FAULT OUTPUT

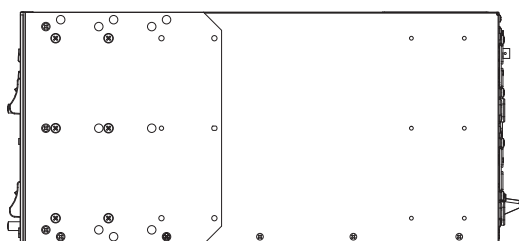
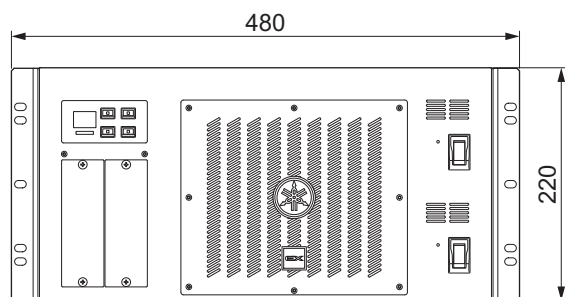
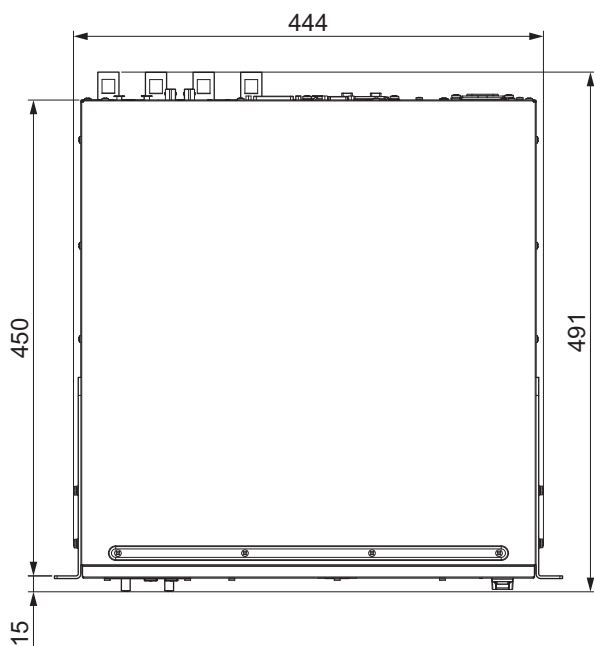
Pin No.	Signal
1	NO (Normally Open)
2	C (Common)
3	NC (Normally Closed)

* Relay Contact

GPI

Pin No.	Signal	Pin No.	Signal
1	GPO1	14	GPO2
2	GPO3	15	GPO4
3	GPO5	16	GPO6
4	GPO7	17	RLY_NC
5	RLY_C	18	RLY_NO
6	GND	19	GND
7	GND	20	OPTO-
8	OPTO+	21	+5V
9	+5V	22	GPI1
10	GPI2	23	GPI3
11	GPI4	24	GPI5
12	GPI6	25	GPI7
13	N.C.		

寸法図



外装色マンセル近似値: N5

単位: mm

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

B

Brightns (Brightness)9

C

Contrast9

D

DEK-DSP-RX8, 16

DSP エクスパンションキット8, 16

F

F/W Ver. (Firmware Version)9

Fan Spd (Fan Speed)9

FAULT OUTPUT10

FaultOut (Fault Output)9

H

HY カード

取り付け14

取り外し15

I

Initialz (Initialize)9

M

Mini-YGDAI カード

取り付け13

取り外し13

Mirr Chk (Mirror Check)9

U

Unit ID9

UnitMode (Unit Mode)9

あ

アップデート8

お

オプションカード13

か

カード

取り付け

HY カード14

Mini-YGDAI カード13

取り外し

HY カード15

Mini-YGDAI カード13

し

初期化16

せ

設定

Brightns (Brightness)9

Contrast9

F/W Ver. (Firmware Version)9

Fan Spd (Fan Speed)9

FaultOut (Fault Output)9

Initialz (Initialize)9

Mirr Chk (Mirror Check)9

Unit ID9

UnitMode (Unit Mode)9

て

電源コードの接続15

電源のオン / オフ15

ふ

ファームウェア

アップデート8

め

メッセージ一覧17

ゆ

ユーロブロックプラグの取り付け12

ら

ラックマウント8

り

リセス8

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

 **0570-050-808**

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**
受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)
オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

 **0570-012-808**

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**
FAX **03-5762-2125** 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持ち込み窓口
東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

受付時間
月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12
KDX 箱崎ビル

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。DEK-DSP-RXは保証書が付属されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

持込修理

保証書

※品名			
※品番			
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お客様	□□□□-□□□□		
	ご住所		
	お名前		
	電話 ()		

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	()	印
	所在地		
	電話		

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

* ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

※ その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation
2020年5月 発行
IPES-B0

VEE1290